

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	歯科医師臨床研修費			<b>担当部局</b>	医政局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成9年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	歯科保健課		課長：鳥山 佳則		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	平成17年6月28日医政発0628012「歯科医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」 平成18年7月3日医政発0703012号「歯科医師臨床研修費補助事業の実施について」				
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	臨床研修施設としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻りに関わる疾病に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を修得するための臨床研修を支援すること。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	臨床研修施設における指導歯科医等の確保、研修プログラムの企画立案・管理、研修歯科医の受け入れのための環境整備等に係る経費に対する財政支援を行う。 対象経費：研修乖離委員会経費、プログラム責任者人件費、役務費等 補助率：定額								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額</b> (単位：百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		当初予算	2,262	2,036	1,725	1,352	1,355		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	2,262	2,036	1,725	1,352	1,355			
	執行額	2,056	1,988	1,685					
執行率(%)	91%	98%	98%						
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	前年同程度の人数の研修歯科医師に対する臨床研修体制の支援を行う。	研修歯科医師数 ※26年度実績は集計中であるため、27年度目標値は平成26年度目標値と同値とする。	成果実績	人	2,240	2,393	-		
			目標値	人	2,385	2,240	2,393	2,393	
			達成度	%	93.9%	106.8%	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	歯科医師臨床研修施設数 (単独型・管理型・協力型代表施設)	活動実績	施設	190	204	203			
		当初見込み	施設	185	190	204	203		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「研修歯科医師数」	単位当たりコスト	千円	917.9	830.8	-	-		
		計算式	X/Y		2,056/2,240	1,988/2,393	1,685/Y	1,352/Y	
平成27-28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	臨床研修費等補助金	1,352	1,355						
	計	1,352	1,355						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	安心・安全な歯科医療を提供するため、国家試験取得後の歯科医師に対して研修期間を確保し、歯科医師の質の向上に取り組む必要があり、国費を投入すべきである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	歯科医師臨床研修は歯科医師法に則った事業であり、臨床研修の円滑な実施を図るため、引き続き国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	安心・安全な歯科医療を提供するため、国家試験取得後の歯科医師に対して研修期間を確保し、歯科医師の質の向上のため優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象等を定めており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれる経費から削減に努めており、コスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	補助事業であり、交付申請書を審査して事業に必要なものに限定して交付している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	毎年概ね前年同程度の人数が臨床研修を行っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね前年同程度の施設数で実施されている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は集計中だが、研修歯科医師数は平成24年度から一定の水準で維持しており、歯科医師臨床研修を円滑に推進する上で当事業は必要である。			
	改善の方向性	平成26年度の執行率は98%で、予算額にほぼ見合った金額で執行できており、引き続き適切な執行をして参りたい。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	研修歯科医数が増加する中、毎年度、予算額は見直させており、効率的・効果的に事業が行われていると考えられることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	94	平成23年度	78	平成24年度	57
平成25年度	46	平成26年度	51		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
1,685百万円

〔 歯科医師臨床研修の実施に要する経費に対する補助 〕



【補助】

A. 臨床研修施設(203)  
1,685百万円

〔 歯科医師臨床研修の実施 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

A.日本歯科大学附属病院			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	指導医等給与費	104			
需用費	医療材料費、印刷製本費、消耗品費、光熱水費	9			
旅費	委員等旅費	0			
その他	報償費、通信運搬費	0			
計		113	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本歯科大学附属病院	歯科医師臨床研修の実施	113	-	-
2	日本大学松戸歯学部附属病院	歯科医師臨床研修の実施	101	-	-
3	大阪歯科大学附属病院	歯科医師臨床研修の実施	94	-	-
4	日本大学歯学部附属歯科病院	歯科医師臨床研修の実施	91	-	-
5	昭和大学歯科病院	歯科医師臨床研修の実施	83	-	-
6	明海大学歯学部附属明海大学病院	歯科医師臨床研修の実施	78	-	-
7	鶴見大学歯学部附属病院	歯科医師臨床研修の実施	72	-	-
8	朝日大学歯学部附属病院	歯科医師臨床研修の実施	71	-	-
9	愛知学院大学歯学部附属病院	歯科医師臨床研修の実施	67	-	-
10	神奈川歯科大学附属病院	歯科医師臨床研修の実施	65	-	-